

令和6年度(2024年度) 空知農業改良普及センター課題別普及活動計画

1 地域課題一覧(1)

○ (重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
1	○輪作の推進と花き生産力の維持による持続可能な農業経営	①輪作の推進 ・水田の汎用化に向けたほ場管理技術の実践 実践農家戸数 (1戸→8戸) ・経営改善手法の実践 輪作計画作成戸数 (0戸→3戸) ②花き生産力の維持 ・基本技術の実践 実践農家戸数 (2戸→4戸) ・多様な人材を活かした労働環境づくり 検討会開催回数 (0回→2回)	岩見沢市	岩見沢市栗沢町越前・自協地区(22戸)	8名	R3 ～ R7	
2	新規参入者に対する営農支援	①営農計画所得目標の達成 ・達成農家戸数 (0戸→2戸)	岩見沢市 三笠市	令和の開拓の会(4戸)	5名	R5 ～ R6	—
3	岩見沢市4Hクラブの活動支援	①プロジェクト活動の充実 ・到達度5点中3.5点以上達成会員割合 (22%→60%)	岩見沢市	岩見沢市4Hクラブ(16名)	2名	R5 ～ R7	—

地域課題一覧(2)

○(重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
4	○複合経営の安定化と担い手を核とした地域農業の振興	①基幹作物の生産性向上 ・直播水稻基本技術の実践 基本技術実践による適正穂数の確保 (4戸→7戸) ②担い手による地域農業の振興 ・若手農業者のほ場管理技術習得 畑作経営基礎に係る習得作物数 (0品目→3品目) ・輪作体系導入に向けた検討 「田畑輪換体系でのほ場管理手引き」を用いた情報交換会の開催 (0回→2回)	美唄市	美唄市西美唄地域 (19戸)	7名	R3 ～ R7	
5	月形町ミニトマト安定生産	①ミニトマトの生産性向上 ・株収量3kg以上達成農家戸数 (3戸→10戸)	月形町	キャロル10作付け者(19戸)	3名	R3 ～ R6	—
6	優れた農業者の活動推進	①組織活動の推進 ・若手農業者への技術指導回数 (0回→1回)	夕張市 由仁町 栗山町	空知南東部地区指導農業士 ・農業士会 (78名)	3名	R6 ～ R7	
7	業務用トマトの安定生産	①新規導入品種の生産性の向上 ・規格内収量 ( $7.5\text{t}/10\text{a}$ → $7.5\text{t}/10\text{a}$ )	由仁町 栗山町	JAそらち南スライストマト部会 (18戸)	4名	R4 ～ R6	

地域課題一覧(3)

○ (重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
8	ミニトマトの安定生産	①生産安定の取り組み ・8～9月出荷量の向上 (40ト→43ト)	夕張市	JA夕張市ミニトマト部会 (40戸)	2名	R6 ～ R7	—
9	若手女性農業者の育成	①若手女性農業者の活動推進 ・勉強会の開催 (2回→2回)	由仁町	WEAVE (9名)	2名	R3 ～ R7	—
10	青年農業者の育成	①プロジェクト活動の推進 ・共同プロジェクト活動取組数 (1課題→1課題)	由仁町	由仁町4Hクラブ (9名)	2名	R4 ～ R7	—
11	○新たな担い手による経営の確立と地域活性化	①新規参入者の定着 ・栽培管理技術の確立・安定化 個別の改善目標の実践戸数 (0戸→3戸) ②新規法人の営農体制の構築 ・土地利用型作物の安定化 実践項目数 (0→2) ③有害鳥獣対策体制の確立 ・効率的な集落柵管理体制の構築 地域全体で取り組む策の実践 (0→1)	栗山町	栗山町日出地域 (15戸)	9名	R3 ～ R7	
12	青年農業者の育成	①自主研修会及び勉強会参加率の向上 勉強会参加人数 (延べ人数) (39名→50名)	栗山町	栗山町4Hクラブ (20名)	2名	R3 ～ R7	—

地域課題一覧(4)

○(重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
13	秋まき小麦の安定確収栽培の確立	①起生期茎数に基づく追肥 ・適正追肥実施人数 (7名→11名) ②止葉期以降の後期追肥 ・追肥実施人数 (6名→10名)	南幌町	若手農業者 (10名)	3名	R6	—
14	○土地利用型作物導入による生産基盤の向上	①長沼型輪作体系による生産性の向上 ・新規作物(子実用とうもろこし)の生産性向上 基本技術実施戸数 (2戸→4戸) ・水稻乾田直播栽培の実証と普及 適正なは種床作り実施による苗立本数150本/m <sup>2</sup> 以上確保農家戸数 (0戸→1戸) 現地研修会参加戸数 (0戸→5戸)	長沼町	25区(9戸)  子実用とうもろこし生産者(4戸)  水稻作付け農家(8戸)	9名	R3 ～ R7	
15	水稻新品種「そらきらり」の安定生産	①「そらきらり」疎植栽培における窒素施肥量の確立 ・施肥改善実施戸数 (0戸→2戸)	南幌町 長沼町	「そらきらり」作付け農業者 (25戸)	2名	R6 ～ R7	—
16	振興作物の安定生産	①土壌分析値に応じたたまねぎの適正施肥 ・リン酸減肥戸数 (1戸→2戸)	長沼町	玉葱生産組合(24戸)	4名	R6	—

地域課題一覧(5)

○ (重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
17	高品位米生産技術の向上	①高品位米出荷率の高位安定化 ・秋耕起実施率 (82%→90%)	砂川市 奈井江町	JA新すながわ 「特別栽培米生産組合 (68戸)	3名	R3 ～ R6	—
18	施設園芸の省力化技術の推進	①省力化技術の導入 ・管理時間低減に向けた環境測定、自動換気、自動かん水システム導入農家数 (10戸→15戸)	砂川市 奈井江町	JA新すながわ トマト・ミニトマト・きゅうり生産者 (76戸)	2名	R5 ～ R7	—
19	○水稲を基幹とした持続可能な経営の確立	①土地利用型作物の安定生産 ・水稲低コスト省力化技術の導入戸数 (4戸→5戸) ・新規畑作物の導入 子実用とうもろこしの導入戸数 (0戸→1戸) ②高収益作物の推進 ・にんにくの導入面積 (60㎡→240㎡) ③担い手への技術伝承と資質向上 ・学習会活動参加率 (47%→60%)	新十津川町	総進4・5地区(13戸)	7名	R3 ～ R7	
20	酒米生産技術の向上	①酒米品質の安定化 ・適正育苗管理実施農家戸数 (0戸→8戸)	新十津川町	ピンネ酒米生産組合 (15戸)	3名	H28 ～ R6	—
21	小麦生産技術の向上	①小麦の安定生産 ・適正管理項目の理解度向上農家戸数 (0戸→7戸)	奈井江町	秋まき小麦作付農家戸数 (32戸)	3名	R6 ～ R8	—

地域課題一覧(6)

○(重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
22	稲WCSの安定生産に向けた支援	①安定生産にむけた栽培技術の検討 (0戸→3戸)	芦別市	稲WCS生産農家(5戸)	2名	R6 ～ R7	—
23	大豆の安定生産に向けた支援	①作業体系の見直し (0戸→3戸)	芦別市	大豆生産農家(4戸)	2名	R6	—
24	にんにくの安定生産	①基本技術の励行 ・技術項目達成戸数 (0戸→10戸)	滝川市 芦別市 赤平市	JAたきかわにんにく生産農家(15戸)	2名	R6 ～ R8	—
25	「えみまる」採種栽培技術の確立	①早期異常出穂抑制技術の導入 ・導入戸数 (0戸→2戸)	滝川市	江部乙町水稻採種組合(15戸)	2名	R6 ～ R7	—
26	○安定生産と効率化による地域農業の永続化	①農作物の生産振興 ・高品質米の安定生産基盤整備後の技術項目実施戸数 (3戸→4戸) ・水稻省力・低コスト生産技術導入省力化技術導入戸数 (1戸→2戸) ・転作畑新規導入品目の定着 加工用トマトの軽労働化技術実施戸数 (0戸→1戸)  ②スマート農業の推進 ・ICTの導入 小麦可変追肥の実施回数 (1回→3回)	滝川市	江部乙町2-2地域(5経営体)	7名	R3 ～ R7	

地域課題一覧(7)

○ (重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
27	○水稲を基幹とした持続可能な複合経営の確立  (農業競争力強化農地整備事業、活力ある農村づくり推進事業およびスマート農業導入推進事業)	①地域の農産物生産性及び収益性の向上 ・水稲省力化技術の改善・定着の推進 課題改善取組農家戸数 (0戸→2戸) ②地域を担う農業者のスキルアップ ・花き類の品質向上 ひまわりの栽培技術改善農家戸数 (0戸→3戸) ・畑作物の収量安定化 畑作物の基本技術改善農家戸数 (0戸→1戸)	深川市	納内東豊地区 (13戸)	8名	R3 ～ R7	
28	新たな農業技術の地域定着化	①稲WCSの安定生産 ・品質確保に向けた適正稲体水分含量での収穫農家戸数 (0戸→8戸)	深川市	稲WCS用稲栽培農業者 (20戸)	3名	R5 ～ R6	—
29	○担い手を核とした持続可能な経営体の育成	①担い手のスキルアップ ・若手農業者個々の営農に向けた課題解消 課題対策実践農家戸数 (0戸→4戸) ②効率的な農作業体系の確立 ・水稲の効率化・省力化技術の実践 水稲疎植栽培安定生産技術実践農家戸数 (2戸→4戸)	沼田町	共成地区 (16戸)	8名	R3 ～ R7	
30	加工用トマトの収量・品質向上	①適正施肥の確立 ・沼田町総出荷量 (平年:300ト→350ト)	沼田町	加工用トマト生産組合 (25戸)	2名	R5 ～ R7	

地域課題一覧(8)

○：重点的に取り組む地域課題

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
31	水田後作の秋まき小麦安定生産	①水田後作における秋まき小麦は種前の効率的・効果的な作業体系の確立 ・前作水稻の栽培、農作業体系の確立 ・排水対策及び適正な耕起方法の検討と実践 排水対策技術実施戸数 (0戸→6戸)	妹背牛町	妹背牛町内水田後作秋まき小麦作付け農業者 (26戸)	2名	R6 ～ R7	—
32	○新たな水田複合経営の確立	①農作物の安定生産と省力化 ・水田基盤整備後の水稻の安定生産 基本技術実施(4項目以上)農家戸数 (3戸→8戸) ・スマート農業の推進導入効果確認農家戸数 (1戸→2戸) ②担い手の経営管理能力向上 ・地域の特色を生かした複合経営の確立 経営分析実施農家戸数 (8戸→8戸)	雨竜町	中島地域 (8戸)	6名	R3 ～ R7	



地域課題一覧(9) (本所 広域専門主査)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
33	市場性のある和牛素牛・繁殖牛生産	①和牛素牛飼養管理技術向上支援 (増体向上農家 0戸→1戸)	由仁町 栗山町	肉牛農家 (15戸)	2名	R6	—
34	田畑輪換における畑作物の施肥改善	①微量要素測定結果に基づく施肥の実践 (0戸→2戸)	岩見沢市	田畑輪換を先進的に取り組む農家(2戸)	2名	R5 ～ R6	—
35	醸造用ぶどうの安定生産	①簡易防鳥ネットを活用した野生鳥害対策技術の実践 (0戸→1戸)	岩見沢市	鳥害を受けている醸造用ぶどう生産農家(2戸)	2名	R6	

地域課題一覧(10) (北空知支所 広域専門主査)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (現況→目標)	主たる対象市町村	普及対象	担当	活動期間	頁
36	良品質稲WCS生産技術の確立と耕畜連携の推進	①肉牛農家のニーズに合う稲WCSの生産 (稲WCSの品質に満足した肉牛農家戸数 4戸→7戸) ②稲WCSほ場における堆肥の新規活用 (0戸→1戸)	深川市	深川市肉牛農家(7戸)  深川市稲WCS生産農家(20戸)	4名	R6 ～ R7	—

2 広域推進事項一覧(1)

業務区分	推進事項名	主たる対象市町	普及対象	担当	頁
担い手	<p>多様な人材が活躍する農業・農村の確立</p> <p>①空知管内広域組織の活動強化と人材確保・定着支援</p> <p>②空知管内女性農業者の活動支援</p> <p>③地域農業を支える多様な人材の活躍支援</p> <p>④農業組織経営体の情報収集・蓄積と各種提供提供</p>	空知管内	<p>新規就農者等、空知4HC連絡協議会、北海道農業士空知地区連絡会議、北海道指導農業士空知地区連絡会議、空知管内女性指導農業士・農業士</p> <p>空知管内女性ネットワーク、空知管内若手女性農業者等</p> <p>農福連携志向農業者、福祉事業所等</p> <p>農地所有適格法人、地域農業支援組織等</p>	8名	
情報・クリーン・有機	<p>普及情報システム化の推進</p> <p>①普及情報の共有化</p> <p>②外部への情報発信</p>	空知管内	普及指導員	8名	
	<p>環境と調和した農業の推進</p> <p>①有機農業の推進</p> <p>②GAPの普及推進</p>		<p>空知有機農業ネットワーク会員及び有機農業者・有機農業志向者</p> <p>空知管内農業者および生産団体・農業高校・関係機関</p>	12名	

広域推進事項一覧(2)

業務区分	推進事項名	主たる対象市町	普及対象	担当	頁
高付加価値化	高付加価値化の推進 ①高付加価値化ステップアップ支援  ②高付加価値化の情報提供と支援	空知管内	ステップアップ志向農家・グループ・地域  高付加価値化実践または志向農家・グループ・地域	8名	